

＜テーマ＞主体的な学習活動を促す学習課題を設定し、学習過程に学び合いを取り入れた取組  
(栗原市立若柳中学校)

○学習の流れ 2年 平行と合同(導入)  
目標 [多角形の角の和の求め方をいろいろな方法で考えてみよう。]

### とらえる

- ・本時で使う既習事項の確認  
三角形の角の和は $180^\circ$   
四角形の角の和は $360^\circ$
- ・目標の確認

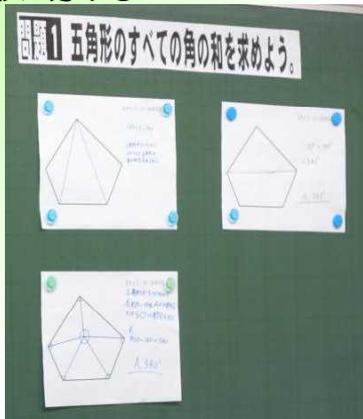
### 考える

- ・【問題①】を考える

#### 五角形の角の和の求め方を考えよう

＜多様な考えに気付く＞

- (1) 三角形に分ける
- (2) 三角形と四角形に分ける
- (3) 図形内部に点を取る
- (4) 辺上に点を取る
- (5) その他



- ・考え方を活用し、六角形、七角形の角の和を求める

### 深める・広げる

- ・【問題②】を考える  
個→班(4人)→全体

### まとめる

- ・学び合いで学習したことを確認する
- ・次時へつなげる

#### ＜ポイント1＞

基本的な考えを応用し、少し手応えのある問題を設定する。友達の考え方が気付きにつながり、話し合いの中で解決できる。

#### 【問題②】

#### 三十二角形のすべての角の和を求めよう

こうすればいいかも

そっちの考えだとできるかも…

A君  
図が描けない

Bさん  
いくつ三角形ができるだろう

Dさん  
三角形は $180^\circ$ 、  
四角形は $360^\circ$ 、  
五角形は…

Cさん  
五角形は三角形が3つできたよ

規則性がありそうだ

もう少しで解けるかも  
も知れない

#### ＜ポイント2＞

個を重視し、考える時間を確保する  
(分からなくてもできるところまで)  
班で考えを伝え合う  
(話し合いの中で考えを深める)  
よりよい考えを全体に発表する

※導入のため内角という用語は使っていません。